

第2回所長講話 「私の考える教師像」

所内研修の中の「所長講話」は、2ヶ月に1回のペースで実施しています。

第2回目は、「私の考える教師像」という題で、40ページにもおよぶ資料と共にお話ししていただきました。ご自分の小学校から大学に至るまでの学習に係わることをお話なされながら、教師との出会いが学ぶことの楽しさにつながっていくことの重要性と、教師になってからの人を育てるという責任の重さと、専門性を磨き、人格を磨き、資質の向上を行いプロ意識を持つことが大切だと気づき、目の前の子ども達のために試行錯誤を繰り返した教育に対する熱い情熱を伝えるとともに、これからの求められる教師像を具体的な姿として示唆をいただきました。

【所長講話の主な内容】

- 1 私自身の学習に係ることから
 - (1) 小学校のころ
 - (2) 中学校のころ
 - (3) 高等学校と大学
 - (4) 教師になってから
- 2 さて、あなたはどのような教師を目指しますか
- 3 特に現在社会における学校の役割
- 4 教師に求められていること
 - (1) 子どもの良さを引き出し伸張させること
 - (2) 自尊感情を高めること
 - (3) 毎日の生活が明るくたのしく生き生きと過ごさせてあげること
 - (4) 夢や希望を広げ社会に貢献できる人材を育てること
- 5 どうして自尊感情を高めることが必要か
- 6 授業づくりは一番の生徒指導
- 7 望む教師像
 - (1) 子どもに愛情を持って寄り添い情熱のある教育実践ができる教師
 - (2) 高い人格を有し人間味溢れる教師
 - (3) 教育の専門家である教師
- 8 社会の変化
 - (1) 社会の変化と求められる人材像
 - (2) 21世紀型能力
 - (3) 日本の近年の教育施策と社会の変化
- 9 学校・家庭・地域の連携が子どもの学力を高める
- 10 これからの授業をどのようにする？
- 11 笑顔で明るく希望に満ちた誇り高い教職生活にしよう！

2月の行事予定

- | | |
|-----|---------------------|
| 1日 | 第2回所長講話 |
| 〃 | 第2回しのため教室協力者会議 |
| 2日 | 教育委員会 |
| 3日 | 所内研修⑧「島尻 BOOK カフェ」 |
| 4日 | クラブ三線④ |
| 5日 | ミーティング |
| 〃 | ヒヤリング⑦(報告書) |
| 〃 | 島教連報告会 |
| 8日 | 旧正月 |
| 9日 | 指導講師検討会(～12日) |
| 11日 | 建国記念日(公休日) |
| 12日 | ミーティング |
| 〃 | 大切な話④ 富名腰 |
| 13日 | 地区学力向上推進実践発表会 |
| 15日 | クラブ琉舞② |
| 16日 | 研究報告書まとめ(～19日) |
| 〃 | 理事会 |
| 17日 | 所内検討会④(報告書) |
| 17日 | 教育長講話 |
| 18日 | 第2回生活リズム研究協力園連絡会 |
| 〃 | クラブ書道⑦ |
| 19日 | ミーティング |
| 〃 | 主任指導主事講話 |
| 22日 | 報告書原稿点検(～26日) |
| 24日 | 所内研修⑨「プレゼンテーションの技法」 |
| 25日 | 議会 |
| 26日 | ミーティング |
| 29日 | 原稿入稿 |
| 〃 | ヒヤリング⑧プレゼンテーション |



写真1 所長講話の様子

教育研究員の感想（研修日誌から）

所長講話を楽しみにしていました。期待以上のためになる話が聞けて、大変嬉しかったです。「私の考える教師像」は、共感できました。特に、「授業作りは一番の生徒指導」に納得させられました。授業の準備をしっかりと行い、どの子にも分かりやすく、そして楽しみながら教えようという意識を持って授業に臨むと、子どもたちの目は、生き生きと輝いてきます。頑張っている子どもたちを認めてあげると、どの子も照れながらも嬉しそうな表情を見せてくれます。そして、教室は、いつの間にか「分かった！」「勉強って楽しいね！」という声が聞こえてきます。次に何が起こるかということ、「もっと勉強したいな」という気持ちが生まれてきます。これが、自主性です。教師に認めて貰い、分かる喜びを味わうことで、子どもの自主性や自己肯定感は育まれて行くと私も思いました。小さい頃やんちゃだった上原所長は、人一倍努力して、教師になり、誰よりも子どもを理解しようと努める正義感溢れる教師であったと感じました。私も、上原所長のように、目の前にいる子どもをしっかりと見つめ、話に最後まで耳を傾け、心を理解するよう努めていこうと決めました。そして、これまで以上に子どもの自己肯定感を高めていけるよう日々、努力していきたいです。私の中の情熱が、所長の話を聞いてよみがえってきました。貴重なお話が聞けて、幸せです。（比嘉頼子）

所長講話を聞いての一番の感想は、教師の仕事はとにかく子どもに学力をつけるということです。しかも、無理矢理やらせるのではなく、子どもが勉強が楽しいと思えるようにしてあげることです。これは簡単なことではありません。平成26、27年度と小学6年生の全国学テの成績だけを見れば、沖縄県は学力がついているように見えます。

ただ、今の沖縄の全国学テの取り組み方を考えると、勉強の楽しさを教えているとは思えません。4月からの取り組みは6年担任として子どもが可哀想です。秋田県は、学力も1位ですが、不登校の割合も全国で一番少ないです。もちろん県も違うので単純に比較はできませんが、沖縄のようなやり方ではなく、子ども達はきっと勉強が楽しい、学校が楽しいと思っているのではないかと思います。教えることはしっかり教えながら子どもが意欲的になれるような授業、そのための教材研究をしっかりとやっていきたいと思えます。

あと、学校の役割ですが、知識だけなら、今の時代はスマホさえあれば何でも調べることができます。そんな時代だからこそ、人と人とのつきあい方や自分が大切だと思えるような自尊感情というものを育てていく必要があるということもとても同感です。違う考え方を認め、より良い考えを導き出していくこと、自分は唯一無二の存在という意識をもって成長し続けることなどは、実社会にでる前に学校でしっかり身に付けさせるべきことだと思います。今日の講話は、内容がたくさんあり過ぎて全部を理解できなかったもので、また家で読み返してみます。（久高友弥）

所長講話では、「私の考える教師像」というテーマで、教師とは将来に影響を与える職業であることや学校が担う役割、そして、教師に求められていることなどについて話し合いました。教師に求められることの中に、「子ども一人一人が自分の事が好きで大事に思えるようにしてあげること」があり、私が出会ってきた子ども達のほとんどが、どちらかということ人前では自信の持てない、長所よりも短所を見つけてしまう所があります。私は、教師として、子ども一人一人の良さを見つけ出し、その子や学級全体で認めることで、自信を持たせ、自尊心や自己肯定感を高めてあげられるようなネガからポジへ入れ替えられる教師でありたいと強く感じました。「縁を生かす」の教師のように、教師は人の人生を左右する仕事であること念頭に、与えられた縁が生かされるように、1日1日を大切に過ごしたいと思いました。（畠名腰由紀）